

A セメスターにおける活動方針について

総合文化研究科・教養学部の皆さま

2020年度Sセメスターでは、原則として全てオンラインにより授業を行いました。Aセメスターより、一部対面授業を実施いたします。駒場キャンパスにおける活動方針については、状況に変化があるごとに都度お知らせしておりますが、対面授業を再開するにあたり、主に授業実施に係る活動方針について、取扱いを以下のとおりお知らせいたします。

なお、キャンパスでの活動にあたっては、引き続き「3密」を避けるなどの感染防止対策を各自で心がけて行動していただくようお願いいたします。

【授業（講義・演習・実習）の実施方針】

主にオンライン授業。ただし、次のとおり一部の科目については対面授業（もしくは対面とオンラインを組み合わせて）を実施します。

- ・前期課程：実験、身体運動、初修外国語、その他一部の総合科目、主題科目等
- ・後期課程、大学院：対面授業の必要があると認められた一部の科目
（教室において前後左右で1席分のスペースを空けられる人数まで）

【入構の取扱い】

対面授業の前後にオンライン授業がある、自宅でのネット環境が良くない等などの場合には、構内からの講義の発信、構内での受信を可とします。なお、入構の際には、予約サイトからの申請が必要です。

◆予約サイト URL（東大駒場Iキャンパス入構/施設利用申請サイト）:

<https://select-type.com/rsv/?id=kDRuRchp5I4>

学生の入構については、授業の受講、研究活動、図書館や情報教育棟等の利用、学生支援課の承認を得た上での課外活動、進学相談、証明書発行等の手続などの理由により、キャンパスへの入構が必要な場合に、予約サイトから申請することで入構が許可されます。

なお、正門からのみ入構可能です。また、研究科長室の許可を得ない一般の方の入構は、原則として認められません。

以上、ご理解の上適切にご対応いただけますようお願いいたします。

2020年9月23日

総合文化研究科長・教養学部長

太田 邦史